



# 黄金の森

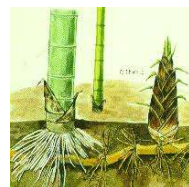
2024年 1月 9日発行  
南風原町立 南風原中学校  
発行者 校長 比嘉智也  
校長だより第18号

【教育目標】 目標を持ち自ら学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で忍耐力のある生徒

## 「節目」で自分を成長させよう！

2024年を迎えました。生徒の皆さん、あけましておめでとうございます。「一年の計は元旦にあり」の通り、新年の計画(目標)を立てましたか。今日から3学期が始まります。一人ひとり進学・進級に向けてしっかりと前進していきましょう。インフルエンザ等には十分気をつけて、体調管理をしながら目標達成に取り組んでください。皆さんがぐんぐん成長することを期待しています。

### 竹の「根と節」のはたらき



竹が寒さや強風にも耐えられる強さとしなやかさをもつには、理由があります。それは竹の「根と節」のはたらきです。驚くことに竹は最初の4年間全然伸びないで、5年後に一気に伸びることがあるそうです。だからといって、4年間は全く成長しないということでもありません。それではどこが成長しているのか。実は最初の4年間のあいだに目には見えない根っこが成長しています。最初にしっかりと根っこを張り、丈夫な基礎ができたところで、竹は大きく成長します。丈夫な基礎があるからこそ、竹は折れずに踏ん張っていられるのです。



竹の強さの秘密のもう一つは竹の節にあります。竹は、1日に1メートル以上成長することもある成長の早い植物です。しかし、ただ上へ上へと伸びたのでは、自分を支えきれなくなってしまうので、自分を支えるために「節目」があるのです。雪が積もった時は、体を「くの字」に曲げて耐え抜き、簡単に折れることはありません。それは、「節目」があるからです。

同じように、私たちも、「節目」があるから成長するのです。成長には、「節目」が必要なのです。例えば、大きな困難に出合った時、「これは、竹の節目と同じだ」と思いみてください。困難から逃げるより、「節目なのだから」とあって、乗り越えることが、「一つの「節目」を増やし以前よりも一歩上の成長につながると思います。私たちの生活において「節目」にあたるのは、一年という長い「節目」もありますが、学期、毎月、一週間、毎日という「節目」もあります。これらを「単なる節目」でなく、成長する竹のような「節目」にするためには、「節目」ごとに、「目標をはっきりと立てる」ことが必要です。

昨年度まで続いていた新型コロナウイルス感染症に関する問題は、人生の中でも何回も起こらない大きな「節目」だったと考えられます。新型コロナウイルスの問題があったからこそ、今の生活の中で工夫され変化し便利になったこともあります。これからも人生の中では予想もしていないことが起こる可能性は、十分あります。皆さんのこれからの人生で、「節目」となる問題が起こったそんなときには、竹のようにしなやかで強い自分でいられるようにしてください。

成長の証である「節目」を一つ一つ刻んで成長していきましょう。

「節目」は、新しい自分をつくり出すチャンスなのです。

自分の生活をもう一度見直して、しっかりと目標を立てて生活していきましょう。そして、ぐんぐん成長していきましょう。学級や学年も一人ひとりが成長することで、もっともっと素敵な学級・学年になることでしょう。



さあ、新しい1年が始まります。みんなで素晴らしい南風原中にしていきましょう。

## 2024年「辰年」

2024年は辰年です。本来の干支でいうと甲辰(きのえ・たつ)。辰年であること以外にも込められた意味があります。



### 干支は「十干」と「十二支」の組み合わせ

「十二支」、ご存知の通り子(ね:ねずみ)、丑(うし)、寅(とら)、卯(う:うさぎ)、辰(たつ)、巳(み:へび)、午(うま)、未(ひつじ)、申(さる)、酉(とり)、戌(いぬ)、亥(い:いのしし)とその年を12種類の動物になぞらえたもので、年の他にも時刻や方角を表すことがあります。

この十二支が「干支」の意味で用いられることがありますが、干支とは本来「十干十二支(じっかんじゅうにし)」を略した呼び名で、「十干(じっかん)」と十二支を組み合わせたものです。

「十干」とは、甲(こう:きのえ)、乙(おつ:きのと)、丙(へい:ひのえ)、丁(てい:ひのと)、戊(ぼ:つちのえ)、己(き:つちのと)、庚(こう:かのえ)、辛(しん:かのと)、壬(じん:みずのえ)、癸(き:みずのと)の総称で、もとは1から10までものを数えるための言葉です。

2024年は十二支でいうと「辰(たつ)年」、十干では「甲(きのえ)の年」となり干支は「甲辰(きのえ・たつ)」となるのです。

### 2024年の「甲辰」の干支でいう意味

十二支や十干は数や方角だけでなく、それぞれ独自の意味を持っています。例えば「甲」が持つのは第1位であり、優勢であることを表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しています。草木が成長し勢いを増す様を表すともいわれます。

「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍(竜)を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。また、昇り龍などに描かれるように、辰年は勢いよく活気あふれる年になるといわれています。



この2つの組み合わせである甲辰には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく。上昇し勢いを増しながらぐんぐんと成長していく年。」といった縁起のよさを表しているそうです。

生徒の皆さん、成功体験を繰り返し、勢いよくぐんぐん成長していく年にしていきましょう。



### 校長クイズ

- 1 横綱が新幹線で座る席は、禁煙席?喫煙席?
- 2 ライオンのおならは臭くない。なぜ?

### 前号クイズの解答

- 1 ハヤシライス
- 2 春(三・人・日)